

東部アナトリア 山と湖の町

2016年、トルコ11番目のチッタスローに登録されたウズンデレ（Uzundere）は、東部アナトリア地方エルズルム県に属する小さな町。豊かな自然に囲まれたのどかな町だが、近年にわかに郊外の湖がアクティビティスポットとして注目を集めている。

ウズンデレはこの地方最大の都市エルズルム（Erzurum）から84km東に位置している。チョルフ渓谷にあり、約1000mと海拔が高いのが特徴だ。豊かな生態系には希少な固有の植物をはじめ、鳥や蝶の種類が多いことで知られ、バードウォッチングを目的に訪れる人も少なくない。

夏は湿気があり、冬は雨が多い地中海性気候のため、野菜や果物の栽培が盛んだ。主な産業も農業や林業で、町

中やその周辺にはザクロやいちじくの木が植えられ、オリーブ畑や田畑が広がる。よく採れるのはラズベリーやブラックベリー、洋ナシ、ローズヒップ、プラムなど。これらは直接食すだけでなく、パイやジャム、ジュースなどに加工して楽しむことができる。地元の人たちが作るパンはこの町の名物の1つで、旅行中に一度は味わいたい。

ウズンデレの歴史は約3000年に及び、時代ごとに荒波に翻弄されてきた。そ

の証ともいえる歴史的遺産が町やその周辺に残されていて興味深い。

文化と建築の両面で評価されているのは、ウズンデレ地区のチャムルヤマチュ村に建つオシュバンク修道院だろう。一説によると、10世紀ごろにジョージアの人々によって建設されたもので、その後も地域の重要な宗教的中心地として機能してきたという。1978年にはトルコ文化省により保護の対象となり、文化財として登録されている。

町の中心部に建つインチェルモスクにも足を延ばしたい。1847年に建設され、手掛けた者は不明ながら、建物を支える木造の梁や支柱、幾何学的な花のモチーフで装飾された内部は一見の価値がある。

そのほか、町の中心部から約4kmの場所にはエンギュゼックカプ城があり、塔や水路、炉、風呂などの跡が残る。一部崩壊しているが、サバジャ城も中世建築の遺跡として見学に値するだろう。

1年中魅力あふれる湖

ウズンデレの北東部に位置する細長いトオルトゥム湖はある意味、ウズンデレ観光のハイライトといえるだろう。エメラルド色に輝く湖は美しく、野鳥や固有の植物が生息する楽園となっている。この静かな湖が多く観光客でにぎわうのは夏。ピクニックをはじめ、キャンプやキャラバンに宿泊してボートやラフティング、フィッシング、トレッキングなどを楽しむ人が多い。

手つかずの自然が魅力のトオルトゥム

湖だが、ウズンデレ地方自治体は環境省など公的機関から資金援助を受け、インフラ整備を行う。タワーレストランをはじめ、栈橋や灯台、ビーチ、円形劇場、野外映画館、ウォーキングトレイルなどを整備していく。アクティビティスポットのゲートウェイシティとしてより脚光を浴びることになりそうだ。

トオルトゥム湖が魅力的なのは、実は湖の北端に位置するトルコ最大のトオルトゥム滝の存在も大いに影響している。18世紀に近くの山で起こった地滑りにより形成されたとされ、幅は21m、高さは48mもある。その高さから流れ落ちる豪快な滝は迫力満点。地元の人々はもちろん、世界各国からの旅行者を含む何千人もの人々が毎年、展望テラスから望むこの滝に魅了されている。

夏から秋にかけてアクティビティや滝観光でにぎわうトオルトゥム湖だが、ここ数年人々が集まってくるのは夏だけではない。標高が高く、山が多く、かつ寒い冬が長い東部はアイスクライマーにとって恰好の場所。ここ数年、アイスクライミングのイベントが行われ

るほどにステータスと知名度が高まっている。15年1月にトルコ登山連盟（TDF）が開催した国際アイスクライミングフェスティバルには、約300人の登山家が集結した。

もともとエルズルム周辺はマウンテンバイクやトレッキング、バードウォッチングといったネイチャーアクティビティが盛んなことで知られていた。これに加え、トルコの本格的なアイスクライミングスポットという要素が加われば、自然の姿を損なうことなくエルズルムの魅力を広めていけそうだ。



チッタスロー（cittaslow）
「スローシティ」の意。地域独自の生活・歴史文化や自然環境など多様性を重視した町づくり活動。



1 48mの高さから流れ落ちる豪快なトオルトゥム滝 2 多種多様な植物が見られる 3 豊かな生態系の森 4 ウズンデレの北東部に位置するトオルトゥム湖 5 バードウォッチングが楽しめる 6 文化と建築の両面で評価されているオシュバンク修道院

Uzundere

渡り鳥の季節を歩く

アジア、ヨーロッパ、アフリカに近接するトルコは、北から南へと移動する渡り鳥の通過点になっている。野鳥の種類が多いことで知られるウズンデレにも多くの渡り鳥が飛来し、なかでもウズンデレ渓谷は鳥たちの移動に最も適した場所の一つだ。

多様な生態系をもつ渓谷には約200種類の鳥類がいるとされており、ツバメやキツツキ、鷺、ハゲタカなどを見ることができる。バードウォッチングとともに楽しめるのは、足元に咲くさまざまな植物や野生動物との遭遇だ。

手つかずの自然に囲まれたウズンデレは、山ヤギやウサギ、オオヤマネコ、キツネなど動物たちの住処でもある。

